



T.Mori

THE KOKURA DAISHOTEN

第58回 小倉大賞典 (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 43,000,000円 17,000,000円 11,000,000円 6,500,000円 4,300,000円
付加賞 560,000円 160,000円 80,000円



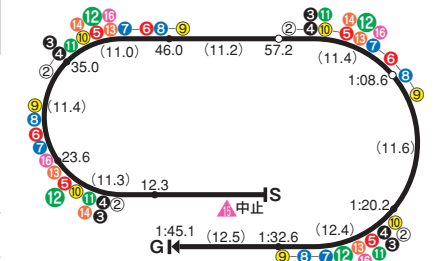
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4 歳以上、2023.2.18以降2024.2.11まで1 回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2024.2.18 小倉 晴・良 芝1800m (国産) (特指)

着順	馬番	馬名	性別	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600m%)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑫	エビファニー	牡 5	57	杉原誠人	1:45.1	7-7-6-4	34.6	504(-2)	5.8③	宮田敬介(美浦)	109
2	⑪	ロングラン	騾 6	57	丹内祐次	1	10-11-10-9	34.3	478(-4)	6.6④	和田勇介(美浦)	107
3	⑤	セルバーク	牡 5	57	今村聖奈	½	1-1-1-1	36.8	442(+2)	18.8⑩	鈴木孝志(栗東)	106
4	⑦	アルナシーム	牡 5	57	鮫島克駿	ハナ	4-4-4-3	35.2	444(-2)	4.7①	橋口慎介(栗東)	106
5	⑧	フェニングロツテン	騾 5	58	幸 英明	2½	2-2-2-2	36.6	478(-8)	17.7⑨	宮本 博(栗東)	
6	⑤	クリノプレミアム	牝 7	55.5	勝浦正樹	アマ	7-7-8-9	35.1	486(-2)	15.6⑦	伊藤 伸一(美浦)	
7	②	カテドラル	牡 8	58.5	斎藤 新	アマ	14-14-14-13	34.3	490(+2)	14.3⑥	池添 学(栗東)	
8	③	ダンディズム	騾 8	57	富田 暁	アマ	12-12-12-11	34.6	478(±0)	8.8⑤	野中賢二(栗東)	
9	⑨	イクスプロージョン	牡 6	57	亀田温心	クビ	6-5-6-6	35.5	484(+8)	100.1⑮	杉山晴紀(栗東)	
10	④	アドマイヤビルゴ	牡 7	57.5	荻野 極	½	3-3-3-4	36.1	444(±0)	44.6⑫	友道康夫(栗東)	
11	④	アサマノイタズラ	牡 6	55	嶋田純次	クビ	12-12-12-11	34.8	506(±0)	27.2⑪	手塚貴久(美浦)	
12	④	ゴールドエクシブス	牡 5	53	角田大河	¾	10-9-8-6	35.5	492(±0)	4.8②	大久保龍志(栗東)	
13	⑩	マイネルファンロン	牡 9	56	丸山元氣	2	9-9-10-13	35.4	492(+2)	73.2⑬	手塚貴久(美浦)	
14	⑩	シフルマン	牡 8	56	角田大和	2½	5-5-4-6	36.7	508(-8)	86.2⑭	中尾秀正(栗東)	
中止	⑥	ホウオウアマゾン	牡 6	58	佐々木大輔				510(-2)	16.4⑧	矢作芳人(栗東)	
取消	①	ディーブモンスター	牡 6	58.5	浜中 俊						池江泰寿(栗東)	

単勝◎680円(3 ½)、複勝◎240円(4 ½)、⑪230円(3 ½)、⑨520円(10 ½)、枠連◎-◎2,160円(9 ½)
馬連⑪-◎2,240円(7 ½)、ワイド⑪-◎940円(8 ½)、⑨-◎2,790円(40 ½)、⑨-◎2,700円(39 ½)
馬単◎-◎4,420円(15 ½)、3 連復◎-⑪-◎22,740円(85 ½)、3 連単◎-⑪-◎106,630円(384 ½)



通過タイム：600m 800m 1000m
35.0 - 46.0 - 57.2 上り：800m 600m
47.9 - 36.5

アラカルト

- ・杉原誠人騎手は小倉大賞典初勝利。JRA重賞は通算3勝目
- ・宮田敬介調教師は小倉大賞典初勝利。JRA重賞は通算4勝目
- ・エビファニア産駒はJRA重賞通算19勝目
- ・5 歳馬の勝利は19年スティッフリオに続く通算16回目
- ・ディーブモンスターは疾病(右前肢跛行)のため出走取消
- ・ホウオウアマゾンは発走直後につまずき、騎手が落馬したため競走中止
- ・非抽選馬 5 頭(エンペザー、ショウナンバシット、タガノバッション、ブランドーロック、ホウオウリアルティ)

エピファニー Epiphany

牡 青鹿毛 2019.1.30生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・南シルクレーシング 美浦・宮田敬介厩舎
馬名意味・公現祭。父名より連想

ミュージカルウェイFR系 F2-s

エピファネイア 鹿毛 2010	シンボリクリスエスUSA 黒鹿毛 1999	Kris S. Tee Kay
	シーザリオ 青毛 2002	スペシャルウィーク キロフプリミエールGB
ルールブリタニア 鹿毛 2013	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	ミュージカルウェイFR 栗毛 2002	Gold Away Mulika

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA M3×S4
Hail to Reason S5×M5

INTERVIEW

足立稔 厩舎長（ノーザンファーム空港）

まだまだ強くなりそうです

育成馬の中でも馬つりの良さはひときわ抜けた存在でした。本格的に乗り出すまでは時間がかかりましたが、デビュー後に4連勝でオープン入りした走りを見たときは、改めて能力のある馬だと実感しました。行きつづりが良かったので今回のような速い流れのレースが向いていたのでしょう。この血統は最近の活躍も目覚ましいだけに、まだまだ強くなりそうです。



T.Mori

戦で念願の勲章を掴み取った。走りや鮮やかに変身。4度目の重賞挑戦で念願の勲章を掴み取った。

父エピファネイアに今年5勝目の重賞をプレゼントした本馬は3歳時、未勝利戦から4連勝を飾って3勝クラスを卒業。しかし飛躍を期待された昨年は折り合い難を露呈して苦戦する場面が目立ち、オープン特別の1勝にとどまった。今年初戦の中山金杯も折り合いに苦しみ、1番人気の支持に恵まれなかった（1着もの、杉原騎手と初コンビを組んだこの日は、最終追い切りの手綱も取った鞍上と人馬一体の走りや鮮やかに変身。4度目の重賞挑戦で念願の勲章を掴み取った。

父エピファネイア

北海道安平町 ノーザンファーム生産 詳細はP.2参照

母ルールブリタニア

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央3戦1勝

(18 死産)

エピファニー 本馬(19 牡父エピファネイア)中央14戦6勝(小倉大賞典^G_{III}、ケ

フェウス^S_{OP}、ノベンパー^S、白井特別、メイ^S_{OP}3着)

獲得総賞金135,166,000円

フォレストダロー(20 牝父モーリス)中央7戦0勝

マテンロウゴールド(21 牝父レイデオロ)中央2戦1勝 ⑨

(22 牝父サートゥルナーリア)

(23 牝父ロードカナロア)

祖母ミュージカルウェイFR

仏、伊、香、愛、星8勝(ドラル賞・仏^G₂、ラクーブドメゾンラフィット・仏

^G₃2回、ブローニュ賞・仏^L、香港^C_G13着、リディアテシオ賞・伊^G₁3着2

回、コリダ賞・仏^G₂3着)、09年輸入、22年死亡

インナーアージ(10 牝父ディープインパクト)中央4勝(サンシャイン^S)、**ブ**

レイティヴェーク ⑩(エリザベス女王杯^G₁、ローズ^S_G2着)、エルバ

リオ ⑩(麦秋^S、四日市特別)の母

トーセンマタコイ(11 牝父ディープインパクト)中央5勝(ウェルカム^S、

オリエンタル賞、精進湖特別、山吹賞)、地方0勝

ミッキークイーン(12 牝父ディープインパクト)中央5勝(オクス^G₁、秋華

賞^G₁、阪神牝馬^S_G、忘れな草賞^{OP}、ヴィクトリアマイル^G₁2着、阪神

牝馬^S_G2着、ローズ^S_G2着、クイーン^C_G2着、宝塚記念^G₁3着)、

最優秀3歳牝馬、**ミッキーゴージャス** ⑩(愛知杯^G_{III})の母

ルールブリタニア(13 前出)

ニュージーズ(21 牝父リアルスティール)中央1勝 ⑩

曾祖母ムリカ Mulika

フランス産 仏0勝

マレーリヴァー Murray River(96 馴父Esprit du Nord)仏1勝(ノアイユ

賞^G₂3着)、英障害2勝

ミュージカルウェイFR(02 前出)

母の父ディープインパクト

北海道早来産 中央、仏12勝(日本ダービー^G₁、皐月賞^G₁、菊花賞^G₁)

[BMS代表産駒]**キセキ**(菊花賞^G₁、父ルーラーシップ)

人馬一体の走りで念願の重賞制覇

トップハンデタイのディープモンス
ターが枠順確定後に出走を取り消し、
いっその混戦ムードに包まれた小倉
大賞典は、重賞未勝利の面々が中心勢
力を形成。全5勝中4勝を芝1800
m戦で記録しているアルナシームと、
小倉の芝1800m戦で2勝、昨夏の
小倉記念でも3着に追い込んだゴール
ドエクリプスが僅差で1、2番人気を
分けた。勝利を飾ったのは2頭に次ぐ
存在と目されていたエピファニー。長
距離輸送の負担を軽減するため、栗東
トレセンで最終追い切りを消化して臨
んだ関東馬が7年ぶり、レース史上3
頭目となる「関東馬制覇」を果たした。
昨年の中京記念を逃げ切ったセルバ

ークが気合をつけて飛び出し、主導権
を奪取。ペースを緩めず、向正面では
4馬身ほどのリードをつけた逃げ馬に
対し、後続の各馬は自分のリズムを守
ってレースを運び、アルナシームは縦
に長い隊列の4番手を進む。エピファ
ニーの杉原誠人騎手は折り合いに専念
して中団を追走。ゴールドエクリプス
はその背後で末脚勝負に構えた。
前半1000mの通過が57秒2。開
催終盤の馬場に速いラップを刻みなが
らも、気分よく飛ばしたセルバークは、
直線に向いながらも軽快に逃げまくる。
しかし4コーナーから馬場の内めを回
って進出にかかり、直線で外に持ち出
されたエピファニーは強烈な末脚を披
露。押し切り寸前と映ったセルバーク
を鋭く捉えると、後方から追い込んだ
ロングランの反撃も寄せ付けずにゴー
ルへ飛び込んだ。